

千葉市長 神谷俊一様

令和7年度千葉市入札適正化・苦情検討委員会の審議について

千葉市入札適正化・苦情検討委員会は、令和7年度において定例会議を3回開催し、千葉市の発注した工事について、入札及び契約に係る事務における公平性の確保並びに客観性及び透明性の向上を図るための審議を行ったので、下記のとおり結果を報告する。

記

1 審議対象

千葉市が発注した工事に関し、入札・契約手続の運用状況及び入札・契約制度の改善状況等の報告を受け、一般競争入札の入札参加資格設定理由、指名競争入札の指名理由及び随意契約の相手方の選定理由等について審議した。

2 審議経過及び審議結果

令和7年度中に本委員会を次のとおり開催し、千葉市から入札及び契約手続の運用状況等や抽出案件の説明を受け、慎重に審議を行った結果、入札及び契約に係る事務は適正に処理されていることが認められた。

令和7年	8月28日	第1回委員会	審議案件	8件
令和7年	11月21日	第2回委員会	審議案件	8件
令和8年	2月9日	第3回委員会	審議案件	6件

3 意見

本委員会は、令和7年度発注案件の中から各委員が抽出した案件22件について審議を行い、入札及び契約事務が適正に処理されていることを承認した。

本委員会の審議内容を踏まえ、千葉市が入札契約制度の改善や公共工事の品質確保の促進に不断の努力を続けていることは評価できる所であり、今後も工事発注にあたって、常に現状を把握し、公平性、透明性及び競争性を確保され、制度の目的が達成されているかを検証しながら、より効率的な事務の執行に努められたい。

今年度の入札状況を見ると、落札率はほぼ横ばいの傾向であり、適正な価格競争が行われているものと認められる。

一方で、入札不調の発生率はやや増加傾向にあり、近年の技術者不足、建設資材の価格高騰や民間工事の需要などの社会情勢を鑑みて、不調となった原因を分析し、設計内容の見直しや、適切な発注時期・発注ロットの設定等の対策を図るとともに、入札参加者を増やすための取り組みも進めていただきたい。

令和8年2月9日

千葉市入札適正化・苦情検討委員会

委員長	水間	明宏
委員	大川	優子
委員	大久保	佳織
委員	川村	和也
委員	望月	悦子